

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 三重県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	総合医療センター	2
-	こころの医療センター	3
-	一志病院	4
-	志摩病院	5
四日市市	市立四日市病院	6
伊勢市	市立伊勢総合病院	7
松阪市	松阪市民病院	8
桑名市	桑名市民病院	9
名張市	名張市立病院	10
尾鷲市	尾鷲総合病院	11
亀山市	市立医療センター	12
志摩市	国民健康保険 志摩市民病院	13
伊賀市	伊賀市立上野総合市民病院	14
大台町	報徳病院	15
玉城町	国保玉城病院	16
南伊勢町	町立南伊勢病院	17
紀南病院組合	紀南病院	18

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	三重県
		市町村・組合名	
		病院名	総合医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,815,865	
決算規模(千円)	661,375,081	
標準財政規模(千円)	438,199,522	
財政力指数	0.60793	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.4
	将来負担比率(%)	184.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	149,523			
1 経常収益	149,523			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	149,523			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	149,523			
2 経常費用	149,523			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	-	-	9.0	7.9
経費	-	-	23.3	19.2
(うち委託料)	-	-	11.5	9.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	149,523			
(うち支払利息)	149,523	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	281.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	
				病院名	こころの医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,768 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	3	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	348	76.0	78.9	78.1
感染症	-	-	-	-
計	348	76.0	78.9	78.1
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,815,865	
決算規模(千円)	661,375,081	
標準財政規模(千円)	438,199,522	
財政力指数	0.60793	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.4
	将来負担比率(%)	184.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.1
修正医業収益(千円)	2,076,992

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,196,605			
1 経常収益	3,196,605			
(1) 医業収益	2,240,653			
入院収益	1,722,649			
外来収益	327,787			
診療収入計	2,050,436			
その他医業収益	190,217			
(うち他会計負担金)	163,661			
(2) 医業外収益	955,952			
(うち国・都道府県補助金)	1,810			
(うち他会計補助・負担金)	841,032			
(うち長期前受金戻入)	92,475			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,270,121			
2 経常費用	3,270,121			
(1) 医業費用	3,144,390			
職員給与費	2,195,976	98.0	55.7	98.9
材料費	202,980	9.1	24.7	8.8
(うち薬品費)	89,646	4.0	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,104	1.5	11.0	1.1
減価償却費	190,595	8.5	9.0	12.7
経費	544,817	24.3	23.3	34.6
(うち委託料)	343,351	15.3	11.5	17.1
研究研修費	7,327			
資産減耗費	2,695			
(2) 医業外費用	125,731			
(うち支払利息)	52,838	2.4	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-73,516			
純損益	-73,516			
累積欠損金	3,196,019			
経常収支比率	97.8		97.7	98.9
医業収支比率	71.3		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	31.4		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	44.8		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	31.4		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	67.0		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,748,156
1 固定資産	8,519,245
(1) 有形固定資産	8,248,036
(2) 無形固定資産	2,301
(3) 投資その他の資産	268,908
2 流動資産	1,228,911
(1) 現金及び預金	762,118
(2) 未収金及び未収収益	508,623
(3) 貸倒引当金()	51,816
(4) 貯蔵品	6,704
3 繰延資産	-
負債合計	17,285,060
1 固定負債	12,717,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,139,842
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(5) その他の長期借入金	4,249,174
(6) 引当金	1,247,184
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,271,245
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	687,717
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	177,869
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	392,067
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,296,197
(1) 長期前受金	6,288,733
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,992,536
資本合計	-7,536,904
1 資本金	311,410
2 剰余金	-7,848,314
(1) 資本剰余金	1,371,554
(2) 利益剰余金	-9,219,868
負債・資本合計	9,748,156
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	7,536,904
資本不足額(繰延収益控除後)()	4,240,707

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	940,624	1,004,693
資本勘定繰入	229,720	229,720
計	1,170,344	1,234,413

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	281.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	
				病院名	一志病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種	該当	
建物面積	6,295 m ²	指定病院の状況	救	へ	
診療科数	8	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	46	80.5	85.5	86.0
療養	40	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	86	43.1	45.7	46.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	18.9	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,815,865	
決算規模(千円)	661,375,081	
標準財政規模(千円)	438,199,522	
財政力指数	0.60793	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.4
	将来負担比率(%)	184.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.1
修正医業収益(千円)	659,492

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,028,568			
1 経常収益	1,028,568			
(1) 医業収益	724,302			
入院収益	380,913			
外来収益	158,677			
診療収入計	539,590			
その他医業収益	184,712			
(うち他会計負担金)	64,810			
(2) 医業外収益	304,266			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	282,568			
(うち長期前受金戻入)	19,008			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	877,906			
2 経常費用	877,906			
(1) 医業費用	855,833			
職員給与費	534,077	73.7	55.7	72.6
材料費	58,894	8.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	22,052	3.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,154	3.6	11.0	5.6
減価償却費	66,084	9.1	9.0	11.1
経費	191,567	26.4	23.3	31.9
(うち委託料)	96,355	13.3	11.5	13.0
研究研修費	2,416			
資産減耗費	2,795			
(2) 医業外費用	22,073			
(うち支払利息)	814	0.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	150,662			
純損益	150,662			
累積欠損金	486,370			
経常収支比率	117.2		97.7	97.4
医業収支比率	84.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	33.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	48.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	33.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	77.6		85.7	74.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,748,156
1 固定資産	8,519,245
(1) 有形固定資産	8,248,036
(2) 無形固定資産	2,301
(3) 投資その他の資産	268,908
2 流動資産	1,228,911
(1) 現金及び預金	762,118
(2) 未収金及び未収収益	508,623
(3) 貸倒引当金()	51,816
(4) 貯蔵品	6,704
3 繰延資産	-
負債合計	17,285,060
1 固定負債	12,717,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,139,842
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(5) その他の長期借入金	4,249,174
(6) 引当金	1,247,184
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,271,245
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	687,717
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	177,869
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	392,067
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,296,197
(1) 長期前受金	6,288,733
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,992,536
資本合計	-7,536,904
1 資本金	311,410
2 剰余金	-7,848,314
(1) 資本金剰余金	1,371,554
(2) 利益剰余金	-9,219,868
負債・資本合計	9,748,156
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	7,536,904
資本不足額(繰延収益控除後)()	4,240,707
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	328,374	347,378
資本勘定繰入	15,016	15,016
計	343,390	362,394

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	281.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	
				病院名	志摩病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,325 m ²	指定病院の状況	救臨へ災地輪		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	236	51.2	50.8	58.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	73.4	78.5	83.8
感染症	-	-	-	-
計	336	57.8	59.1	66.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	15.6	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	1,815,865	
決算規模(千円)	661,375,081	
標準財政規模(千円)	438,199,522	
財政力指数	0.60793	
経常収支比率(%)	95.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.4
	将来負担比率(%)	184.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.0
修正医業収益(千円)	10,722

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,058,703			
1 経常収益	1,058,703			
(1) 医業収益	305,083			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	305,083			
(うち他会計負担金)	294,361			
(2) 医業外収益	753,620			
(うち国・都道府県補助金)	3,207			
(うち他会計補助・負担金)	448,368			
(うち長期前受金戻入)	129,178			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,114,396			
2 経常費用	1,114,396			
(1) 医業費用	1,044,327			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	312,000	102.3	9.0	9.3
経費	730,653	239.5	23.3	22.1
(うち委託料)	9,169	3.0	11.5	11.1
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	1,674	-	-	-
(2) 医業外費用	70,069	-	-	-
(うち支払利息)	49,475	16.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-55,693			
純損益	-55,693			
累積欠損金	5,537,479			
経常収支比率	95.0		97.7	96.4
医業収支比率	29.2		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	70.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	243.5		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	70.2		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	28.4		85.7	85.3

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,748,156
1 固定資産	8,519,245
(1) 有形固定資産	8,248,036
(2) 無形固定資産	2,301
(3) 投資その他の資産	268,908
2 流動資産	1,228,911
(1) 現金及び預金	762,118
(2) 未収金及び未収収益	508,623
(3) 貸倒引当金()	51,816
(4) 貯蔵品	6,704
3 繰延資産	-
負債合計	17,285,060
1 固定負債	12,717,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,139,842
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,081,418
(5) その他の長期借入金	4,249,174
(6) 引当金	1,247,184
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,271,245
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	687,717
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	177,869
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	392,067
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,296,197
(1) 長期前受金	6,288,733
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,992,536
資本合計	-7,536,904
1 資本金	311,410
2 剰余金	-7,848,314
(1) 資本金剰余金	1,371,554
(2) 利益剰余金	-9,219,868
負債・資本合計	9,748,156
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	7,536,904
資本不足額(繰延収益控除後)()	4,240,707
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	668,533	742,729
資本勘定繰入	148,198	148,198
計	816,731	890,927

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	281.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	四日市市
				病院名	市立四日市病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	49,525 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	28	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	566	73.3	76.4	77.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	1.9	-	-
計	568	73.1	76.1	77.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.4	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	311,031	
決算規模(千円)	123,219,576	
標準財政規模(千円)	91,068,924	
財政力指数	1.17	
経常収支比率(%)	74.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.9
修正医業収益(千円)	20,043,183

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,516,688			
1 経常収益	21,418,192			
(1) 医業収益	20,167,363			
入院収益	12,704,229			
外来収益	6,947,328			
診療収入計	19,651,557			
その他医業収益	515,806			
(うち他会計負担金)	124,180			
(2) 医業外収益	1,250,829			
(うち国・都道府県補助金)	39,260			
(うち他会計補助・負担金)	563,308			
(うち長期前受金戻入)	512,615			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	98,496			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	21,764,551			
2 経常費用	21,713,567			
(1) 医業費用	20,680,974			
職員給与費	9,119,547	45.2	55.7	49.1
材料費	6,586,876	32.7	24.7	29.1
(うち薬品費)	3,351,560	16.6	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,234,097	16.0	11.0	12.7
減価償却費	1,560,749	7.7	9.0	8.4
経費	3,316,569	16.4	23.3	20.7
(うち委託料)	1,924,986	9.5	11.5	11.6
研究研修費	66,926			
資産減耗費	30,307			
(2) 医業外費用	1,032,593			
(うち支払利息)	122,636	0.6	1.4	1.2
(3) 特別損失	50,984			
損益				
経常損益	-295,375			
純損益	-247,863			
累積欠損金	1,241,044			
経常収支比率	98.6		97.7	98.8
医業収支比率	97.5		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	3.2		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	3.4		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	3.2		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	95.5		85.7	89.9

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,033,142
1 固定資産	17,227,777
(1) 有形固定資産	16,166,641
(2) 無形固定資産	3,443
(3) 投資その他の資産	1,057,693
2 流動資産	13,805,365
(1) 現金及び預金	10,299,018
(2) 未収金及び未収収益	3,316,240
(3) 貸倒引当金()	26,346
(4) 貯蔵品	216,453
3 繰延資産	-
負債合計	15,956,232
1 固定負債	12,887,981
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,492,803
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,359,750
(7) リース債務	35,428
2 流動負債	2,913,404
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	951,952
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	562,480
(6) リース債務	19,415
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,312,007
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	154,847
(1) 長期前受金	2,209,135
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,054,288
資本合計	15,076,910
1 資本金	16,317,954
2 剰余金	-1,241,044
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,241,044
負債・資本合計	31,033,142
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	896,831	687,488
資本勘定繰入	618,333	618,333
計	1,515,164	1,305,821

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	伊勢市
				病院名	市立伊勢総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,379 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	260	78.8	64.4	60.2
療養	40	90.6	68.0	64.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	80.4	64.9	60.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	12.6	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	127,817	
決算規模(千円)	50,140,146	
標準財政規模(千円)	29,873,524	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.7
修正医業収益(千円)	6,435,720

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,679,599			
1 経常収益	7,678,818			
(1) 医業収益	6,485,590			
入院収益	4,178,604			
外来収益	1,783,705			
診療収入計	5,962,309			
その他医業収益	523,281			
(うち他会計負担金)	49,870			
(2) 医業外収益	1,193,228			
(うち国・都道府県補助金)	5,886			
(うち他会計補助・負担金)	739,334			
(うち長期前受金戻入)	413,534			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	781			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,055,466			
2 経常費用	8,055,466			
(1) 医業費用	7,601,487			
職員給与費	4,108,271	63.3	55.7	57.0
材料費	1,286,944	19.8	24.7	24.5
(うち薬品費)	656,133	10.1	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	628,000	9.7	11.0	11.3
減価償却費	974,956	15.0	9.0	9.3
経費	1,184,885	18.3	23.3	22.1
(うち委託料)	880,391	13.6	11.5	11.1
研究研修費	45,537			
資産減耗費	894			
(2) 医業外費用	453,979			
(うち支払利息)	64,164	1.0	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-376,648			
純損益	-375,867			
累積欠損金	2,224,736			
経常収支比率	95.3		97.7	96.4
医業収支比率	85.3		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.2		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	10.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	85.5		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,867,796
1 固定資産	18,803,002
(1) 有形固定資産	18,396,593
(2) 無形固定資産	3,563
(3) 投資その他の資産	402,846
2 流動資産	2,064,794
(1) 現金及び預金	947,961
(2) 未収金及び未収収益	1,097,567
(3) 貸倒引当金()	9,824
(4) 貯蔵品	29,089
3 繰延資産	-
負債合計	17,896,065
1 固定負債	14,127,107
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,458,388
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,668,719
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,194,897
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	696,653
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	238,691
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,256,610
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,574,061
(1) 長期前受金	2,519,959
(2) 長期前受金収益化累計額()	945,898
資本合計	2,971,731
1 資本金	4,254,000
2 剰余金	-1,282,269
(1) 資本金剰余金	942,467
(2) 利益剰余金	-2,224,736
負債・資本合計	20,867,796
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	484,995	789,204
資本勘定繰入	260,667	325,227
計	745,662	1,114,431

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	34.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	三重県
	市町村・組合名	松阪市
	病院名	松阪市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透 力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	24,379 m ²	指定病院の状況	救 臨 感 へ 災 地 輪
診療科数	25	看護配置	7 : 1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区 分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一 般	326	89.1	88.8	85.7
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	2	-	-	-
計	328	88.6	88.3	85.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	13.7	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	163,863	
決算規模(千円)	72,734,889	
標準財政規模(千円)	41,831,743	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	86.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	100.1
修正医業収益(千円)	10,035,093

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	10,804,380			
1 経 常 収 益	10,804,380			
(1) 医 業 収 益	10,105,382			
入 院 収 益	5,871,052			
外 来 収 益	4,011,862			
診 療 収 入 計	9,882,914			
そ の 他 医 業 収 益	222,468			
(うち他会計負担金)	70,289			
(2) 医 業 外 収 益	698,998			
(うち国・都道府県補助金)	8,446			
(うち他会計補助・負担金)	351,131			
(うち長期前受金戻入)	252,037			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	10,716,132			
2 経 常 費 用	10,670,334			
(1) 医 業 費 用	10,027,270			
職 員 給 与 費	4,642,630	45.9	55.7	57.0
材 料 費	3,618,955	35.8	24.7	24.5
(うち薬品費)	2,683,479	26.6	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	834,054	8.3	11.0	11.3
減 価 償 却 費	507,307	5.0	9.0	9.3
経 理 費	1,170,090	11.6	23.3	22.1
(うち委託料)	666,053	6.6	11.5	11.1
研 究 研 修 費	49,474			
資 産 減 耗 費	38,814			
(2) 医 業 外 費 用	643,064			
(うち支払利息)	115,944	1.1	1.4	1.4
(3) 特 別 損 失	45,798			
損 益				
経 常 損 益	134,046			
純 損 益	88,248			
累 積 欠 損 金	3,906,580			
経 常 収 支 比 率	101.3		97.7	96.4
医 業 収 支 比 率	100.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	3.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	4.2		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	3.9		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	97.3		85.7	85.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	10,722,557
1 固 定 資 産	6,996,228
(1) 有 形 固 定 資 産	6,611,668
(2) 無 形 固 定 資 産	82,580
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	301,980
2 流 動 資 産	3,726,329
(1) 現 金 及 び 預 金	1,928,027
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	1,685,843
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	5,820
(4) 貯 蔵 品	111,342
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	8,672,479
1 固 定 負 債	4,362,622
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,950,426
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	1,373,116
(7) リ ー ス 債 務	39,080
2 流 動 負 債	1,736,204
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	751,982
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	232,027
(6) リ ー ス 債 務	16,331
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	708,891
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	2,573,653
(1) 長 期 前 受 金	6,603,573
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	4,029,920
資 本 合 計	2,050,078
1 資 本 金	5,937,816
2 剰 余 金	-3,887,738
(1) 資 本 剰 余 金	18,842
(2) 利 益 剰 余 金	-3,906,580
負 債 ・ 資 本 合 計	10,722,557
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収益勘定繰入	507,757	421,420
資本勘定繰入	481,730	461,781
計	989,487	883,201

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	三重県
		市町村・組合名	桑名市
		病院名	桑名市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	140,303	
決算規模（千円）	52,316,909	
標準財政規模（千円）	30,337,010	
財政力指数	0.85	
経常収支比率（%）	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.8
	将来負担比率（%）	64.7

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	299			
1 経常収益	299			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	299			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	299			
2 経常費用	299			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	-	-	9.0	9.9
経費	-	-	23.3	27.7
(うち委託料)	-	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	299			
(うち支払利息)	299	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	83.5

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	名張市
				病院名	名張市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,102 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	9	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	200	77.0	78.5	87.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	200	77.0	78.5	87.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	12.2	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	78,795	
決算規模(千円)	29,723,796	
標準財政規模(千円)	16,103,371	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	100.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.1
	将来負担比率(%)	191.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.8
修正医業収益(千円)	3,912,076

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,017,463			
1 経常収益	4,989,807			
(1) 医業収益	4,274,937			
入院収益	2,906,136			
外来収益	908,005			
診療収入計	3,814,141			
その他医業収益	460,796			
(うち他会計負担金)	362,861			
(2) 医業外収益	714,870			
(うち国・都道府県補助金)	9,253			
(うち他会計補助・負担金)	401,335			
(うち長期前受金戻入)	66,239			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	27,656			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,336,441			
2 経常費用	5,327,236			
(1) 医業費用	4,614,711			
職員給与費	2,803,852	65.6	55.7	59.8
材料費	754,551	17.7	24.7	19.0
(うち薬品費)	197,847	4.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	556,704	13.0	11.0	9.2
減価償却費	202,533	4.7	9.0	9.9
経費	798,207	18.7	23.3	27.7
(うち委託料)	510,490	11.9	11.5	12.4
研究研修費	11,605			
資産減耗費	43,963			
(2) 医業外費用	712,525			
(うち支払利息)	120,505	2.8	1.4	1.5
(3) 特別損失	9,205			
損益				
経常損益	-337,429			
純損益	-318,978			
累積欠損金	9,411,924			
経常収支比率	93.7		97.7	96.3
医業収支比率	92.6		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	15.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.9		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	15.2		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	79.3		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,600,812
1 固定資産	5,778,661
(1) 有形固定資産	5,775,881
(2) 無形固定資産	2,780
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	822,151
(1) 現金及び預金	24,212
(2) 未収金及び未収収益	672,372
(3) 貸倒引当金()	9,625
(4) 貯蔵品	37,919
3 繰延資産	-
負債合計	6,869,664
1 固定負債	4,674,646
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,651,214
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	200,000
(6) 引当金	819,846
(7) リース債務	3,586
2 流動負債	1,716,716
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	632,937
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	157,096
(6) リース債務	2,151
(7) 一時借入金	190,000
(8) 未払金及び未払費用	723,482
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	478,302
(1) 長期前受金	2,163,738
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,685,436
資本合計	-268,852
1 資本金	8,417,200
2 剰余金	-8,686,052
(1) 資本金剰余金	725,872
(2) 利益剰余金	-9,411,924
負債・資本合計	6,600,812
不良債務	261,628
実質資金不足額	261,628
資金不足額()	268,852
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	756,434	764,196
資本勘定繰入	403,442	479,282
計	1,159,876	1,243,478

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	261,628	6.1
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	220.2
健全化法上の資金不足額(千円)	261,628
健全化法上の資金不足比率(%)	6.1
地財法上の資金不足額(千円)	261,628
地財法上の資金不足比率(%)	6.1

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	尾鷲市
				病院名	尾鷲総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,802 m ²	指定病院の状況	救臨へ災輪		
診療科数	15	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	199	73.0	76.0	76.3
療養	56	63.5	53.0	74.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	255	70.9	70.9	75.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	18.4	19.5

設立団体の状況		
人口(人)	18,009	
決算規模(千円)	10,216,960	
標準財政規模(千円)	5,925,282	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	45.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.9
修正医業収益(千円)	3,787,040

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,250,187			
1 経常収益	4,250,007			
(1) 医業収益	3,818,693			
入院収益	2,226,564			
外来収益	1,419,245			
診療収入計	3,645,809			
その他医業収益	172,884			
(うち他会計負担金)	31,653			
(2) 医業外収益	431,314			
(うち国・都道府県補助金)	6,341			
(うち他会計補助・負担金)	201,959			
(うち長期前受金戻入)	200,239			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	180			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,186,284			
2 経常費用	4,141,882			
(1) 医業費用	3,949,130			
職員給与費	2,309,281	60.5	55.7	59.8
材料費	738,580	19.3	24.7	19.0
(うち薬品費)	384,047	10.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	349,690	9.2	11.0	9.2
減価償却費	201,907	5.3	9.0	9.9
経費	686,586	18.0	23.3	27.7
(うち委託料)	343,083	9.0	11.5	12.4
研究研修費	6,299			
資産減耗費	6,477			
(2) 医業外費用	192,752			
(うち支払利息)	57,504	1.5	1.4	1.5
(3) 特別損失	44,402			
損益				
経常損益	108,125			
純損益	63,903			
累積欠損金	2,867,121			
経常収支比率	102.6		97.7	96.3
医業収支比率	96.7		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	5.5		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	5.5		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	97.0		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,521,070
1 固定資産	2,881,600
(1) 有形固定資産	2,869,070
(2) 無形固定資産	3,279
(3) 投資その他の資産	9,251
2 流動資産	639,470
(1) 現金及び預金	10,501
(2) 未収金及び未収収益	591,912
(3) 貸倒引当金()	4,240
(4) 貯蔵品	41,297
3 繰延資産	-
負債合計	3,372,805
1 固定負債	2,121,169
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,694,111
(2) その他の企業債	47,719
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	379,339
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,018,917
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	324,578
(2) その他の企業債	2,981
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	138,617
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	350,000
(8) 未払金及び未払費用	179,372
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	232,719
(1) 長期前受金	3,656,801
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,424,082
資本合計	148,265
1 資本金	200,856
2 剰余金	-52,591
(1) 資本金剰余金	2,814,530
(2) 利益剰余金	-2,867,121
負債・資本合計	3,521,070
不良債務	54,869
実質資金不足額	54,869
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	236,293	233,612
資本勘定繰入	191,388	191,388
計	427,681	425,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	54,869	1.4
平成30年度	125,662	3.3
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	75.1
健全化法上の資金不足額(千円)	51,888
健全化法上の資金不足比率(%)	1.3
地財法上の資金不足額(千円)	102,588
地財法上の資金不足比率(%)	2.6

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	亀山市
				病院名	市立医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,980 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	4	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	92	70.4	70.4	68.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	92	70.4	70.4	68.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	17.8	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	50,254	
決算規模(千円)	20,947,896	
標準財政規模(千円)	12,790,434	
財政力指数	0.91	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.8
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.7
修正医業収益(千円)	1,380,562

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,617,823			
1 経常収益	1,617,409			
(1) 医業収益	1,408,759			
入院収益	820,872			
外来収益	507,182			
診療収入計	1,328,054			
その他医業収益	80,705			
(うち他会計負担金)	28,197			
(2) 医業外収益	208,650			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	198,854			
(うち長期前受金戻入)	2,171			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	414			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,703,740			
2 経常費用	1,698,866			
(1) 医業費用	1,630,466			
職員給与費	893,279	63.4	55.7	72.6
材料費	204,120	14.5	24.7	15.8
(うち薬品費)	83,427	5.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	118,970	8.4	11.0	5.6
減価償却費	146,750	10.4	9.0	11.1
経費	367,169	26.1	23.3	31.9
(うち委託料)	241,192	17.1	11.5	13.0
研究研修費	3,292			
資産減耗費	15,856			
(2) 医業外費用	68,400			
(うち支払利息)	3,339	0.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	4,874			
損益				
経常損益	-81,457			
純損益	-85,917			
累積欠損金	1,283,883			
経常収支比率	95.2		97.7	97.4
医業収支比率	86.4		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	14.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	16.1		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	14.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	81.8		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,916,805
1 固定資産	2,337,994
(1) 有形固定資産	2,285,958
(2) 無形固定資産	940
(3) 投資その他の資産	51,096
2 流動資産	578,811
(1) 現金及び預金	334,550
(2) 未収金及び未収収益	240,311
(3) 貸倒引当金()	1,301
(4) 貯蔵品	5,251
3 繰延資産	-
負債合計	510,051
1 固定負債	250,542
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	199,221
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	47,725
(7) リース債務	3,596
2 流動負債	247,356
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,879
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	61,064
(6) リース債務	21,659
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	150,068
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,153
(1) 長期前受金	21,611
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,458
資本合計	2,406,754
1 資本金	3,672,859
2 剰余金	-1,266,105
(1) 資本金剰余金	17,778
(2) 利益剰余金	-1,283,883
負債・資本合計	2,916,805
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	186,081	227,051
資本勘定繰入	45,406	45,406
計	231,487	272,457

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	91.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	志摩市
				病院名	国民健康保険 志摩市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,358 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	7	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	17	-	-	-
療養	60	94.6	85.1	80.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	77	73.7	66.3	62.6
平均在院日数（一般病床のみ）				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	50,341	
決算規模（千円）	25,861,173	
標準財政規模（千円）	16,466,264	
財政力指数	0.39	
経常収支比率（%）	101.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.3
	将来負担比率（%）	41.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	73.1
修正医業収益（千円）	911,742

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,299,938			
1 経常収益	1,299,623			
(1) 医業収益	950,647			
入院収益	547,648			
外来収益	342,748			
診療収入計	890,396			
その他医業収益	60,251			
(うち他会計負担金)	38,905			
(2) 医業外収益	348,976			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	229,255			
(うち長期前受金戻入)	114,883			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	315			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,313,604			
2 経常費用	1,292,704			
(1) 医業費用	1,247,491			
職員給与費	812,944	85.5	55.7	72.6
材料費	107,482	11.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	63,477	6.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	44,005	4.6	11.0	5.6
減価償却費	112,289	11.8	9.0	11.1
経費	212,293	22.3	23.3	31.9
(うち委託料)	140,334	14.8	11.5	13.0
研究研修費	1,489			
資産減耗費	994			
(2) 医業外費用	45,213			
(うち支払利息)	18,715	2.0	1.4	1.7
(3) 特別損失	20,900			
損益				
経常損益	6,919			
純損益	-13,666			
累積欠損金	678,040			
経常収支比率	100.5		97.7	97.4
医業収支比率	76.2		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	20.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	28.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	20.6		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	79.8		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,727,113
1 固定資産	1,490,622
(1) 有形固定資産	1,488,799
(2) 無形固定資産	1,823
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	236,491
(1) 現金及び預金	86,278
(2) 未収金及び未収収益	161,998
(3) 貸倒引当金（ ）	15,127
(4) 貯蔵品	3,341
3 繰延資産	-
負債合計	1,801,027
1 固定負債	791,119
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	770,219
(2) その他の企業債	20,900
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	217,306
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	75,193
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	50,273
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	50,000
(8) 未払金及び未払費用	38,731
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	792,602
(1) 長期前受金	1,491,844
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	699,242
資本合計	-73,914
1 資本金	350,796
2 剰余金	-424,710
(1) 資本金剰余金	253,330
(2) 利益剰余金	-678,040
負債・資本合計	1,727,113
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	73,914
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	225,534	268,160
資本勘定繰入	79,964	115,205
計	305,498	383,365

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	71.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	伊賀市
				病院名	伊賀市立上野総合市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	15,528 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	20	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	241	65.0	70.6	67.9
療養	40	98.8	-	90.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	281	69.8	70.6	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.2	20.5	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	90,581	
決算規模(千円)	45,065,084	
標準財政規模(千円)	27,132,947	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	77.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	100.4
修正医業収益(千円)	4,024,233

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,600,935			
1 経常収益	4,570,655			
(1) 医業収益	4,222,385			
入院収益	2,741,960			
外来収益	1,021,766			
診療収入計	3,763,726			
その他医業収益	458,659			
(うち他会計負担金)	198,152			
(2) 医業外収益	348,270			
(うち国・都道府県補助金)	5,036			
(うち他会計補助・負担金)	209,292			
(うち長期前受金戻入)	82,325			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30,280			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,280,342			
2 経常費用	4,266,080			
(1) 医業費用	4,009,286			
職員給与費	2,097,299	49.7	55.7	59.8
材料費	746,612	17.7	24.7	19.0
(うち薬品費)	344,565	8.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	399,856	9.5	11.0	9.2
減価償却費	196,390	4.7	9.0	9.9
経費	929,195	22.0	23.3	27.7
(うち委託料)	474,148	11.2	11.5	12.4
研究研修費	5,324			
資産減耗費	34,466			
(2) 医業外費用	256,794			
(うち支払利息)	20,682	0.5	1.4	1.5
(3) 特別損失	14,262			
損益				
経常損益	304,575			
純損益	320,593			
累積欠損金	636,799			
経常収支比率	107.1		97.7	96.3
医業収支比率	105.3		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.6		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	8.9		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	97.6		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,553,743
1 固定資産	2,689,463
(1) 有形固定資産	2,687,018
(2) 無形固定資産	1,656
(3) 投資その他の資産	789
2 流動資産	1,864,280
(1) 現金及び預金	1,239,097
(2) 未収金及び未収収益	620,563
(3) 貸倒引当金()	1,282
(4) 貯蔵品	5,902
3 繰延資産	-
負債合計	3,926,363
1 固定負債	2,626,925
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,515,997
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	485,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	625,928
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,106,131
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	181,280
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	20,000
(5) 引当金	127,592
(6) リース債務	329
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	775,930
(9) 前受金及び前受収益	1,000
3 繰延収益	193,307
(1) 長期前受金	3,693,977
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,500,670
資本合計	627,380
1 資本金	168,333
2 剰余金	459,047
(1) 資本金剰余金	1,085,633
(2) 利益剰余金	-626,586
負債・資本合計	4,553,743
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	327,444	407,444
資本勘定繰入	80,305	80,305
計	407,749	487,749

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	三重県
		市町村・組合名	大台町
		病院名	報徳病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	9,557	
決算規模（千円）	6,818,246	
標準財政規模（千円）	4,740,644	
財政力指数	0.25	
経常収支比率（%）	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.2
	将来負担比率（%）	38.2

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,321			
1 経常収益	1,321			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,321			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,321			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,321			
2 経常費用	1,321			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	-	-	23.3	47.4
(うち委託料)	-	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,321			
(うち支払利息)	1,321	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	829	1,321
資本勘定繰入	5,300	8,856
計	6,129	10,177

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	玉城町
				病院名	国保玉城病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,964 m ²	指定病院の状況			
診療科数	7	看護配置	20:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	50	98.6	99.4	99.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	98.6	99.4	99.4
平均在院日数（一般病床のみ）				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	15,431	
決算規模（千円）	5,891,223	
標準財政規模（千円）	4,080,240	
財政力指数	0.61	
経常収支比率（%）	74.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.5
	将来負担比率（%）	55.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	90.3
修正医業収益（千円）	604,872

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	685,149			
1 経常収益	680,149			
(1) 医業収益	608,368			
入院収益	413,502			
外来収益	138,540			
診療収入計	552,042			
その他医業収益	56,326			
(うち他会計負担金)	3,496			
(2) 医業外収益	71,781			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	61,160			
(うち長期前受金戻入)	6,552			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,000			
(うち他会計繰入金)	5,000			
総費用	708,141			
2 経常費用	703,141			
(1) 医業費用	669,800			
職員給与費	410,650	67.5	55.7	72.6
材料費	55,274	9.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	20,453	3.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,931	3.9	11.0	5.6
減価償却費	38,601	6.3	9.0	11.1
経費	164,149	27.0	23.3	31.9
(うち委託料)	122,306	20.1	11.5	13.0
研究研修費	1,126			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	33,341			
(うち支払利息)	10,519	1.7	1.4	1.7
(3) 特別損失	5,000			
損益				
経常損益	-22,992			
純損益	-22,992			
累積欠損金	56,957			
経常収支比率	96.7		97.7	97.4
医業収支比率	90.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	87.5		85.7	74.2

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,308,390
1 固定資産	765,571
(1) 有形固定資産	747,263
(2) 無形固定資産	676
(3) 投資その他の資産	17,632
2 流動資産	542,819
(1) 現金及び預金	447,810
(2) 未収金及び未収収益	93,838
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	1,171
3 繰延資産	-
負債合計	789,552
1 固定負債	511,514
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	485,407
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	26,107
(7) リース債務	-
2 流動負債	134,757
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	45,615
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,854
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	66,472
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	143,281
(1) 長期前受金	229,228
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	85,947
資本合計	518,838
1 資本金	15,863
2 剰余金	502,975
(1) 資本金剰余金	529,932
(2) 利益剰余金	-26,957
負債・資本合計	1,308,390
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	58,379	69,656
資本勘定繰入	21,594	25,994
計	79,973	95,650

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	9.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	南伊勢町
				病院名	町立南伊勢病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,375 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	7	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	76.0	75.4	84.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	76.0	49.6	55.3
平均在院日数(一般病床のみ)		23.3	27.4	22.8

設立団体の状況		
人口(人)	12,788	
決算規模(千円)	9,096,509	
標準財政規模(千円)	5,814,527	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	66.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	65.9
修正医業収益(千円)	664,824

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	950,304			
1 経常収益	950,304			
(1) 医業収益	734,824			
入院収益	319,926			
外来収益	303,459			
診療収入計	623,385			
その他医業収益	111,439			
(うち他会計負担金)	70,000			
(2) 医業外収益	215,480			
(うち国・都道府県補助金)	566			
(うち他会計補助・負担金)	163,290			
(うち長期前受金戻入)	33,994			
(うち資本費繰入収益)	15,789			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,137,664			
2 経常費用	1,137,664			
(1) 医業費用	1,008,335			
職員給与費	654,509	89.1	55.7	72.6
材料費	69,643	9.5	24.7	15.8
(うち薬品費)	32,375	4.4	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,268	5.1	11.0	5.6
減価償却費	25,480	3.5	9.0	11.1
経費	155,094	21.1	23.3	31.9
(うち委託料)	109,176	14.9	11.5	13.0
研究研修費	1,217			
資産減耗費	102,392			
(2) 医業外費用	129,329			
(うち支払利息)	5,217	0.7	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-187,360			
純損益	-187,360			
累積欠損金	187,360			
経常収支比率	83.5		97.7	97.4
医業収支比率	72.9		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	24.5		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	31.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	24.5		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	63.0		85.7	74.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,518,094
1 固定資産	2,291,709
(1) 有形固定資産	2,291,709
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	226,385
(1) 現金及び預金	106,462
(2) 未収金及び未収収益	110,963
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	8,960
3 繰延資産	-
負債合計	2,617,685
1 固定負債	2,423,760
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,423,760
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	104,248
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	47,737
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,372
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,896
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	89,677
(1) 長期前受金	107,184
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,507
資本合計	-99,591
1 資本金	9,110
2 剰余金	-108,701
(1) 資本金剰余金	78,659
(2) 利益剰余金	-187,360
負債・資本合計	2,518,094
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	99,591
資本不足額(繰延収益控除後)()	9,914
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	233,290	233,290
資本勘定繰入	75,803	75,803
計	309,093	309,093

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	三重県
				市町村・組合名	紀南病院組合
				病院名	紀南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,675 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
診療科数	16	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	200	71.8	85.0	83.9
療養	40	76.9	79.9	83.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	244	71.4	82.8	82.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.8	16.1	14.3

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.6
修正医業収益(千円)	3,400,556

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,459,074			
1 経常収益	4,457,636			
(1) 医業収益	3,504,152			
入院収益	2,360,500			
外来収益	930,358			
診療収入計	3,290,858			
その他医業収益	213,294			
(うち他会計負担金)	103,596			
(2) 医業外収益	953,484			
(うち国・都道府県補助金)	13,127			
(うち他会計補助・負担金)	165,658			
(うち長期前受金戻入)	204,527			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,438			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,830,816			
2 経常費用	4,830,816			
(1) 医業費用	4,114,991			
職員給与費	2,217,701	63.3	55.7	59.8
材料費	583,477	16.7	24.7	19.0
(うち薬品費)	282,083	8.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	288,712	8.2	11.0	9.2
減価償却費	302,961	8.6	9.0	9.9
経費	965,040	27.5	23.3	27.7
(うち委託料)	324,673	9.3	11.5	12.4
研究研修費	11,470			
資産減耗費	34,342			
(2) 医業外費用	715,825			
(うち支払利息)	38,538	1.1	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-373,180			
純損益	-371,742			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.3		97.7	96.3
医業収支比率	85.2		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	6.0		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	86.7		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,391,851
1 固定資産	6,420,442
(1) 有形固定資産	6,193,652
(2) 無形固定資産	547
(3) 投資その他の資産	226,243
2 流動資産	1,971,409
(1) 現金及び預金	1,367,632
(2) 未収金及び未収収益	607,538
(3) 貸倒引当金()	12,146
(4) 貯蔵品	8,385
3 繰延資産	-
負債合計	6,178,531
1 固定負債	3,365,282
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,365,282
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	964,629
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	306,795
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	181,186
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	461,161
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,848,620
(1) 長期前受金	5,364,716
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,516,096
資本合計	2,213,320
1 資本金	906,776
2 剰余金	1,306,544
(1) 資本剰余金	133,674
(2) 利益剰余金	1,172,870
負債・資本合計	8,391,851
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	323,222	269,254
資本勘定繰入	137,846	127,419
計	461,068	396,673

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。